

主な特徴

設置とメンテナンスが簡単

Tempus600®は、最適に機能するように設計されたコンパクトなシステムです。病院における日常業務を妨げることなく、わずか2週間での設置が可能です。移転が必要になった場合でも、システムとパイプは再利用でき、別の建物や病院の別の新しい場所に問題なく移動できます。

稼働率と信頼性

Tempus600®ソリューションは極めて高い信頼性を誇ります。99.93%という驚異的な稼働率で運用コストを大幅に削減します。さらに当社のサポートチームは、トラブルシューティングの大部分をリモートで実行でき、Tempus600®を使用することで最適なサービスが提供されます！

モジュール方式によるスケーラブルなソリューション

モジュール方式の設計により、Tempus600®ソリューションは統合と拡張を容易に実現します。必要なものが単一のシステムか、病院全体にわたる包括的なコンセプトかに関係なくまずTempus600®を統合し後で新しいニーズを合わせて拡張することができます。柔軟でスケーラブルなシステムによりあらゆる構成に対して完全な搬送ソリューションを組み合わせることが可能で、サンプルフロー全体を合理化・最適化することができます。



より具体的な情報

国	病院	導入ケース
28	226	668



ザルスタット株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-16-11 内神田渋谷ビル 8階
Tel: +81 3 3526 3530 Fax: +81 3 3526 0870
info.jp@sarstedt.com www.sarstedt.com

SARSTEDTによる分析前ワークフロー

当社のシステムによる相乗効果をご活用下さい



TEMPUS600®
One-touch for better treatment

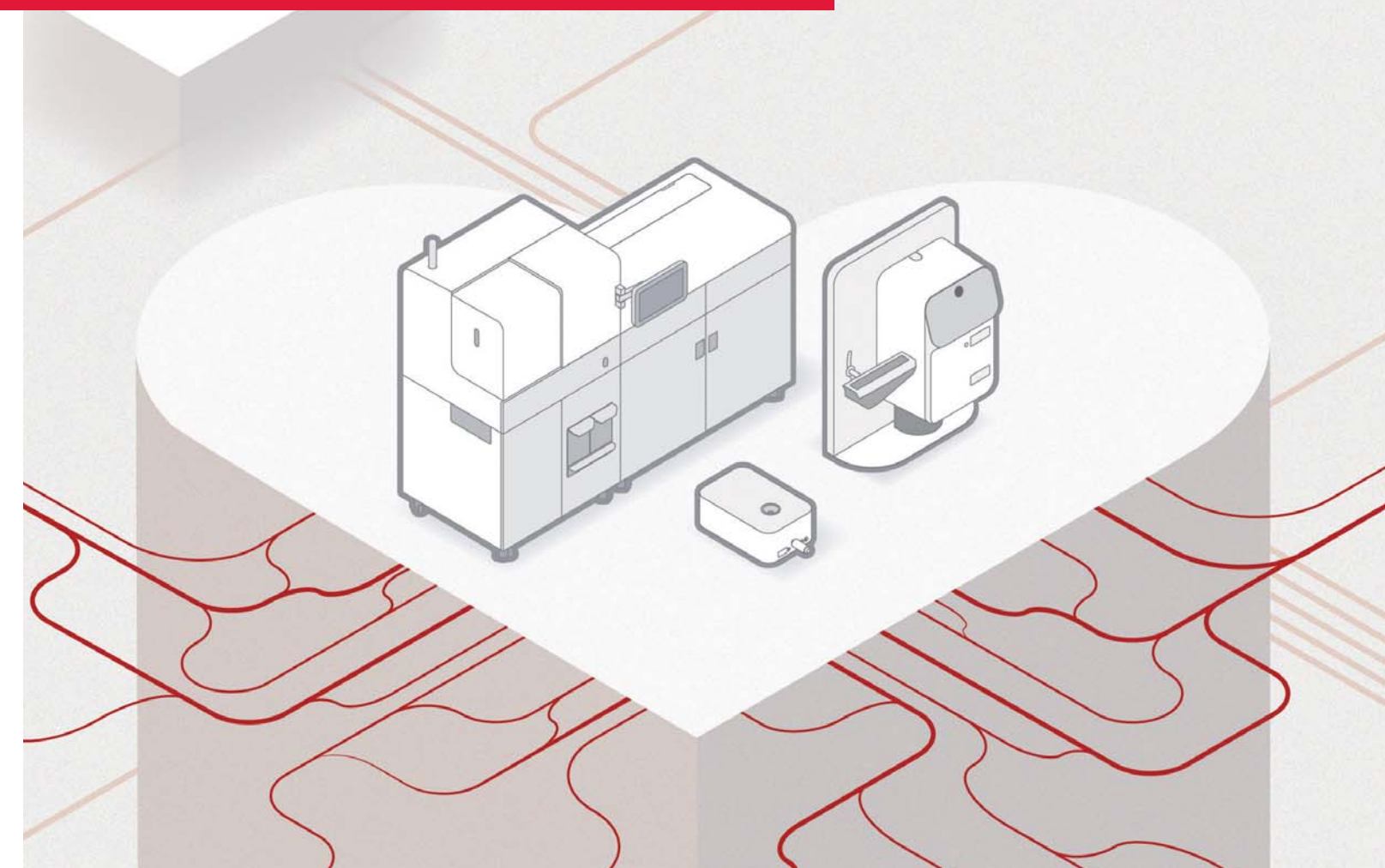
SARSTEDTによる
分析前360°ソリ
ューションをぜひ
ご体験ください



workflow.sarstedt.com

Tempus600®

分析前検体搬送管理の
心臓部



Tempus600®
- 微量検体の搬送に革命をもたらします



当社の ソリューション

- ✓ すべての部門からラボへの検体フローをつなぐ
- ✓ 検体フローの最適化と管理
- ✓ 病院やラボの貴重な時間とリソースを節約

SARSTEDTでは、すべてを繋ぐことに信念を持っています。そして繋がりには自信を生みます。これが当社の手法です。自動化された検体搬送により病院やラボのすべての部門を接続できます。

当社は、微量検体の搬送と取り扱いを改善・合理化します。

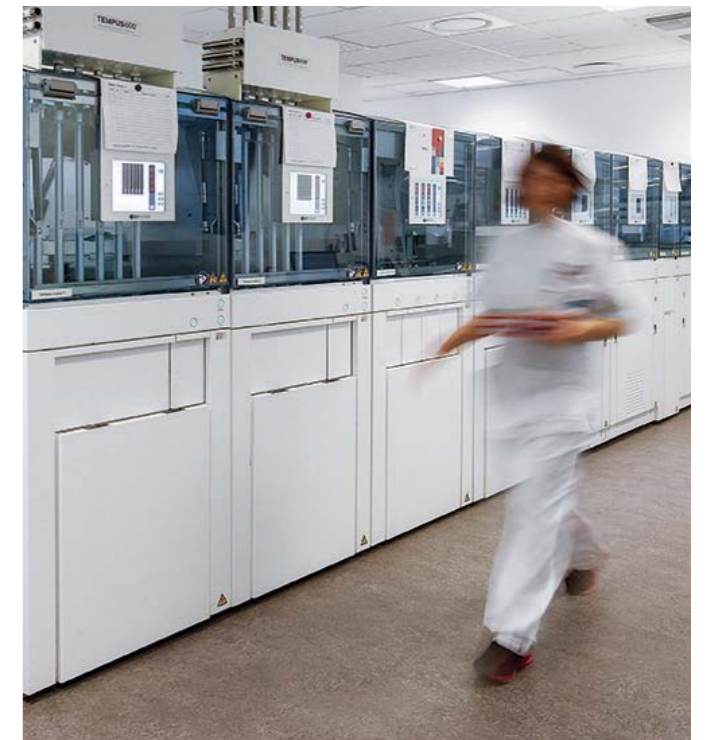
まさに革新的

Tempus600®は、世界中の病院やラボに自動検体搬送を提供します。このシステムは、あらゆる検体において迅速な搬送時間、そして安全かつ簡単および最高の品質を保証します。モジュール方式でスケーラブルなオプションにより、あらゆる病院環境の特定のニーズに合わせてカスタマイズされたソリューションをご提供します。

Tempus600®システムは、迅速かつ到着時間が予想可能な輸送によりプレアナリティカル分野において中心的な役割を果たします。本システムは、ワンタッチで大量のサンプルを処理できます。

簡便さ、制御性、そして作業における満足度

ワンタッチソリューションによって、時間のかかる手作業でのプロセスが排除され、検体の搬送をより効率的にし、日常業務がよりスムーズに行えるようになります。本システムは、簡単かつ直観的に操作でき、検体が分配されたら、振り返る必要はありません。Tempus600®が作業を引き継ぎ、検体をラボの自動ラインに直ちに送ります。



節約と患者の満足度

全てが調和する人は社会的な生き物です。私たちは人に見られ、人に会う必要があります。Tempus600®は、一分一秒を争うような状況でも、これを可能にします。自動化された検体搬送管理により、個々の患者に対応する時間が生まれます。サンプルに次ぐサンプル。年中無休の自動連続搬送機能により、検査室での誤配送や採血ピーク時のリスクはありません。患者は迅速な対応を受け、システムを通してより早く退院することができます。

ワンタッチ管理システム

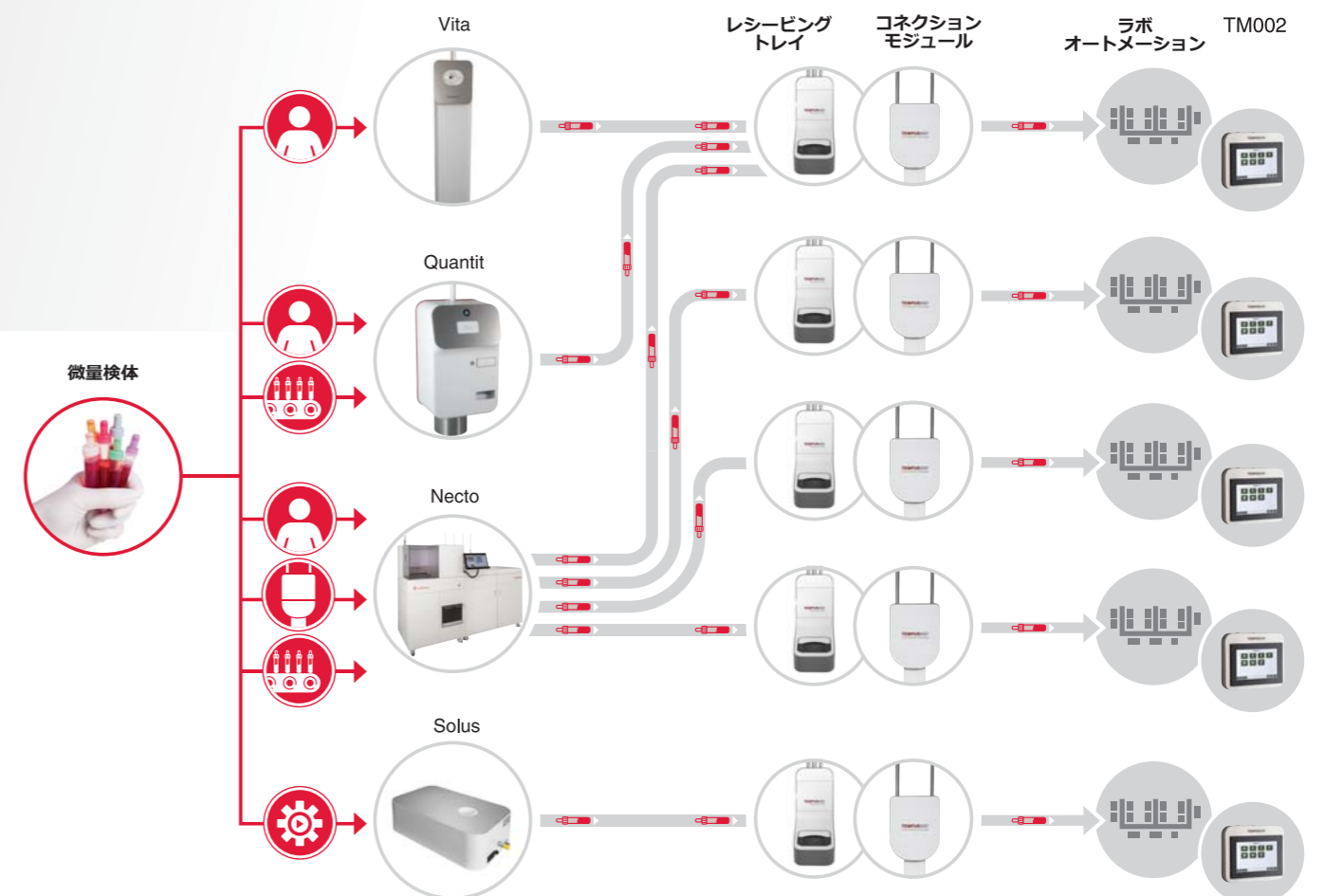
自動化されたワンタッチシステムを使用することで、検体の梱包や開梱が不要で、かつ遅延や誤搬送がなく、検体が数秒で病棟からラボに直接運ばれます。まるで患者のすぐ隣にラボがあるようなものです！

微量検体のワンタッチソリューションとは何ですか？
私たちがワンタッチと言えば、そのままを意味します。つまり、検体の採取時から担当医の答えを待つまでたった1つの指紋のようなものです。

当社のワンタッチ管理システムにより、微量検体を追加で梱包したり開梱したりする必要がなくなります。検体はTempus600®に投入され、わずか数秒でラボに搬送されます。ワンタッチ管理により貴重な時間を節約し、エラーの可能性も低減します。また、スタッフが搬送作業から解放され他の作業を行うことも可能になります。

微量検体を送ることがなぜ重要なのですか？
従来の気送管システムによって搬送される検体のうち、少なくとも75%は微量検体で占められています。しかし従来の気送管システムでは、検体は搬送時に気送子にパックする必要があるため時間が掛かります。

Tempus600®システムは、既存の気送管システムの負荷を大幅に軽減し、特にスタッフの対応時間を低減し、また煩わしい手作業の必要性を軽減します。



動作機構

使用するTempus600®システムに応じて、検体は手で、もしくはロボットアームやベルトコンベア、さらにコネクションモジュールを介して投入されます。

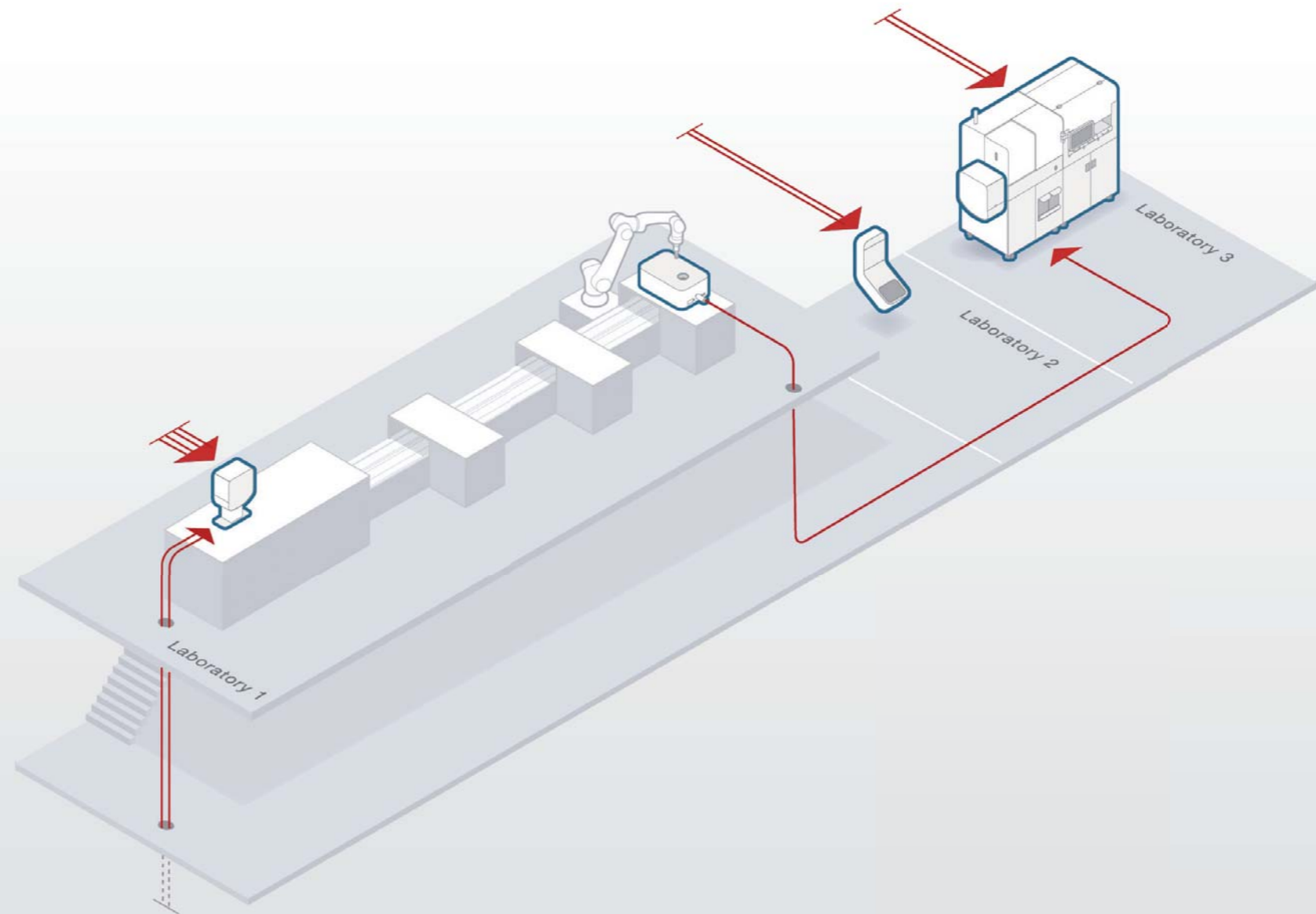
ラボに到着すると、検体はレシーピングトレイで受け取るか、バルクローダーやソーターなどのラボの自動化システムと統合されたコネクションモジュール経由で直接受け取ります。



微量検体の ラボ間の輸送

複数の場所の間で直接かつ迅速な
処理が可能

2つのラボ間を検体が自動で輸送されることで
ワークフローが改善され他のタスクのための時間
とリソースの余裕が生まれます。



検体はレシービングトレイに到着し、スタッフが簡単に取り
出すことができます。



Tempus600®接続モジュールは、採血管の自動ワンタッチシ
ステムの一部として作業手順の削減、ハンズフリーでのサン
プルチューブの取り扱い、全体的により迅速かつ安全な取り
扱いなど幅広い利点を提供します。



検体は、Tempus600® Solusに投入され宛先に直接送られる
前に自動化ソリューションによる品質確認および承認を受け
る必要があります。

ラボ間の輸送

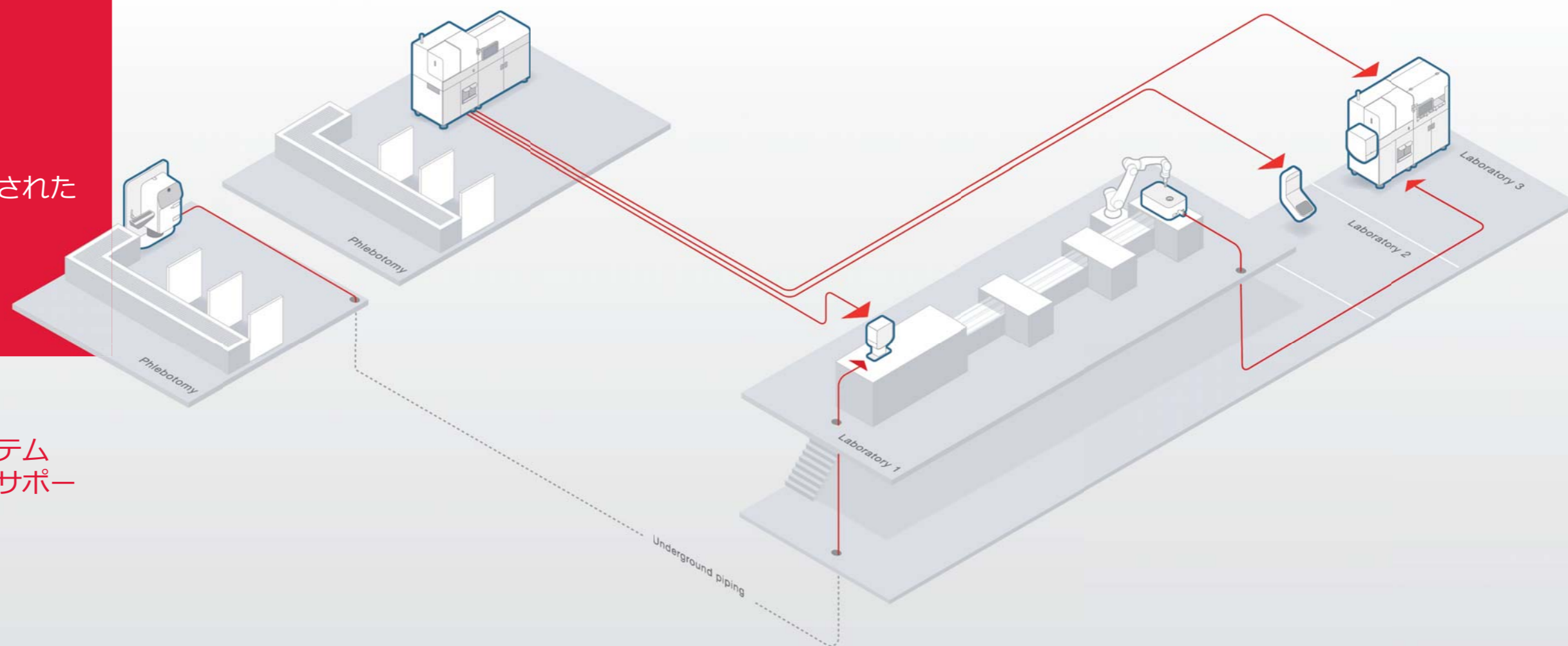
中央ラボは、大量の微量検体と一般開業医からの検体を受領
します。一部の検体は分析用に専門的なラボに送られ、その
他の検体は保管エリアから出し病院に送られます。ラボの狭
い環境と効率的な生産フローに対する高い要求が相まって、
日々の作業を合理化できる無駄のないプロセスが必要となっ
ています。

Tempus600® Solusは、2つのラボ間、またはラボから別の
宛先への微量検体の迅速かつ確実な搬送に役立ちます。こ
のようにして、2つのラボ間の搬送の遅延を回避し、すべての
部門で効率的なプロセスフローを維持できます。

採血室

大きなサンプル数の自動化された
取り扱いと搬送

自動化された検体搬送システム
は、ほとんど気付かれないサポ-
-ト機能となっています。



Tempus600® Quantit SLは、検体の自動投入と搬送のニーズ
を満たします。



検体は、コンベアベルトに接続できるサイドローダーモジ-
-ュールを使用して自動的にTempus600® Quantit SLまで
届きます。



Tempus600® Nectoは、ベルトコンベアに接続することも、
検体を手で投入することもできます。システムは登録と仕分-
-けプロセス全体を合理化し、検体を最大6つの異なる宛先に転
送できます。

先進の自動化

大規模な採血では、検体の流れを合理化し患者に安心感を与
えることができる効率的な搬送システムが不可欠です。お客
様のニーズと選択されたソリューションに応じてサンプルは
ワンタッチで1つまたは複数の搬送先に直接自動送搬送され
ます。

Tempus600® Quantit SLを使用すると、検体はベルトコンベ-
-アで自動的にシステムに投入され1つの搬送先に直接搬送さ
れます。

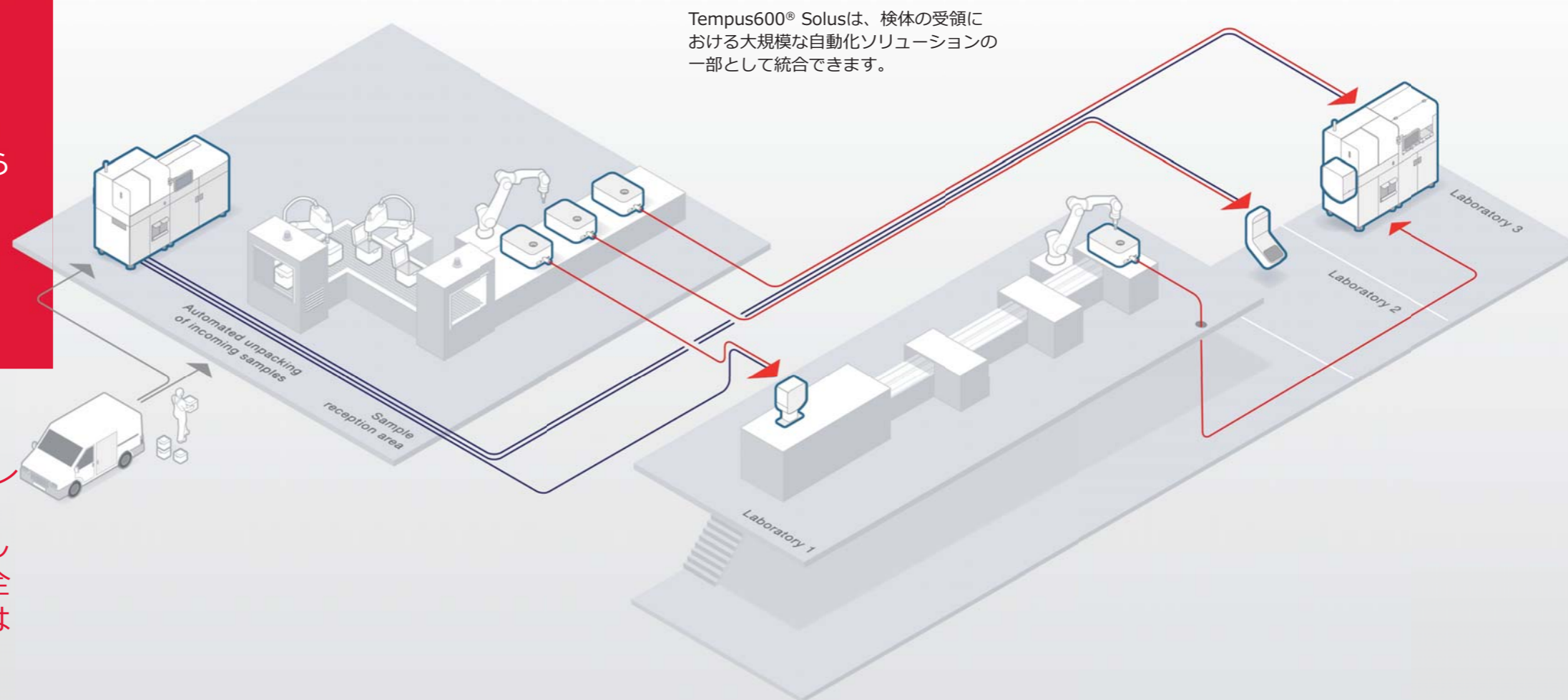
Tempus600® Necto は、登録と仕分けの全プロセスを合理化
し最大6つの異なる場所に検体を搬送できます。

Tempus600®自動ワンタッチシステムは、マニュアル操作を
極力排除し、検体搬送に要するスタッフの数を減らすことが
できます。これにより、スタッフは安心感が得られ、またス
トレスが軽減され、患者のケアに集中することができます。

検体の受領

開業医、外部ラボ、外部病院からの検体をワンタッチで自動処理・搬送する検体受付。

LIS接続、ソーティング基準、トレーサビリティ、ポイント・ツー・ポイント配送により、検体が正しい送り先に搬送されることを完全に保証します。何も考える必要はありません！



Tempus600®は、検体の仕分け、登録、長距離にわたる搬送を合理化する受領エリアの自動化をサポートします。



Tempus600®Solusは、開梱後の検体を再搬送するために使用されます。複数の宛先が必要な場合は、同数のセンディングステーションを追加するだけです。

サンプル受付エリアでの仕分けと搬送

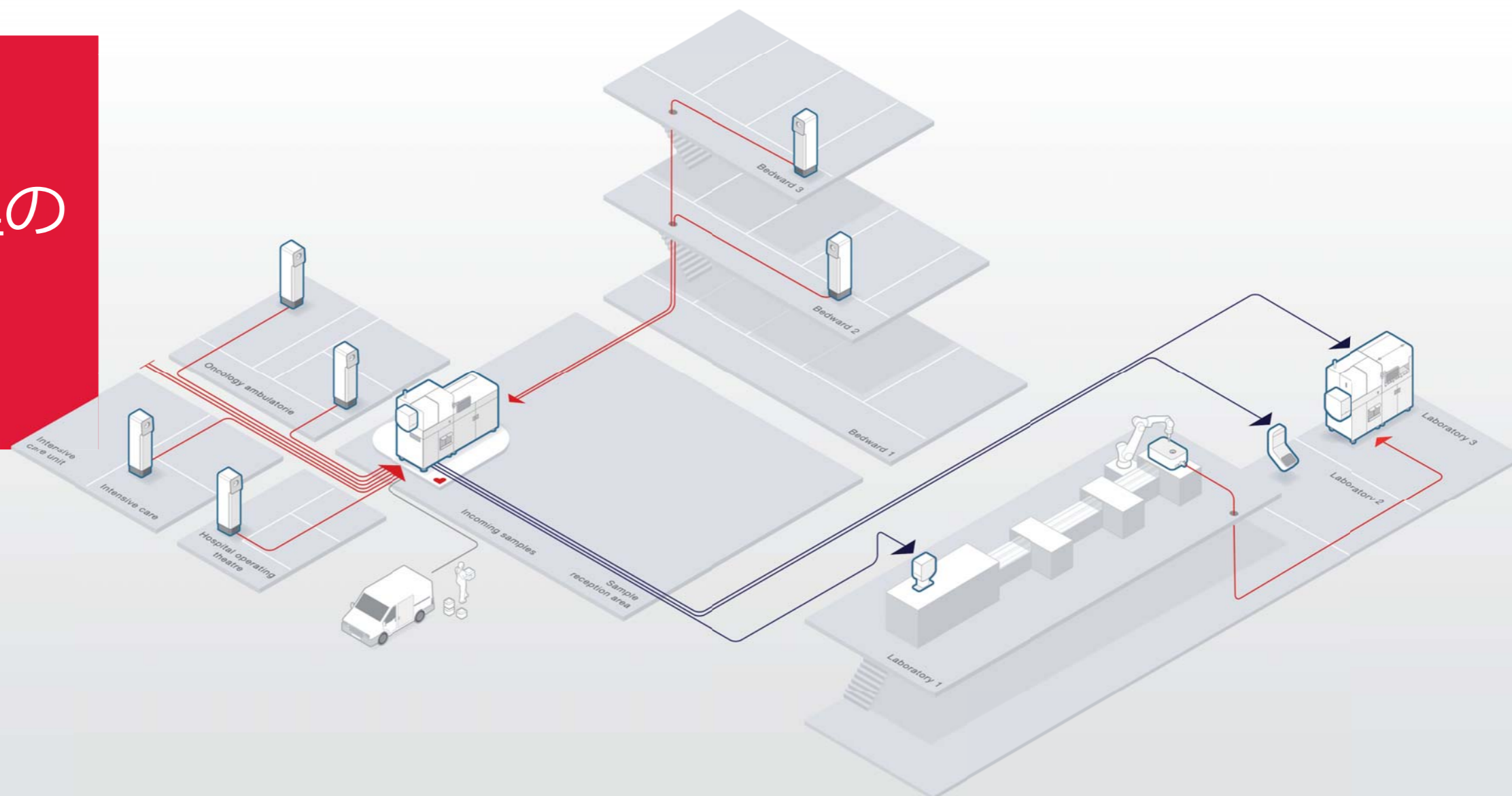
検体受入エリアでの検体受入は、後にラボで検体の仕分けが必要になったときに、手作業による処理に関連してボトルネックとなる可能性があります。

しかし、このようなことはありません！想像してみてください。少量の検査用検体や医療現場から送られてくる検体を自動的に受け取り、分類し、記録し、それぞれの搬送先に送ることができるのです。手作業なしで。これこそTempus600® Nectoが可能にすることです！

ワンタッチシステムは、GPSからの受信サンプルにも適用され、検体の総所要時間を大幅に短縮します。外部検体の入った輸送箱は開梱ステーションに置かれ、開梱、検体の選別、記録が行われた後ロボットアームが検体をTempus600®Solusに誘導しラボに直接個別に送られます。

検体の自動ハンドリングと輸送は、時間のかかる手作業手順を排除し、エラーを最小限に抑えます。これはロジスティクスと高度な自動化が必要なソリューションです。

検体搬送管理の 心臓部



Tempus600® Nectoは、Tempus600®システムまたは既存のシステムを介して病院の各部門からの検体の再搬送センターとして機能しています。

検体搬送管理の心臓部

Tempus600® Necto は、微量検体の管理における心臓部のようなものです。分析前と分析後の自動化を結び付け、完全な自動化を達成します。検体の受領、仕分け、登録から最大6つの異なる宛先への搬送まで、すべての機能が1つのソリューションに集約されています。

Nectoは、コネクションモジュール、コンベア、または手動のいずれかで、さまざまな部門から検体を継続的に受領します。サンプルは処理され、ラボに送られ、そこでTempus600®レシービングトレイに投入されるか、Tempus600®接続モジュールを介してベルトに直接送られます。

検体搬送管理は余剰能力を提供し、次のような場合に有効です。

- 検体搬送を管理する時間がない場合
- 手作業による検体管理を自動化する場合
- 迅速で確実な検体管理、分類、搬送が必要な場合

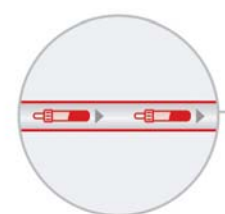
.....> 検体の読み込み

.....> サンプルの認証

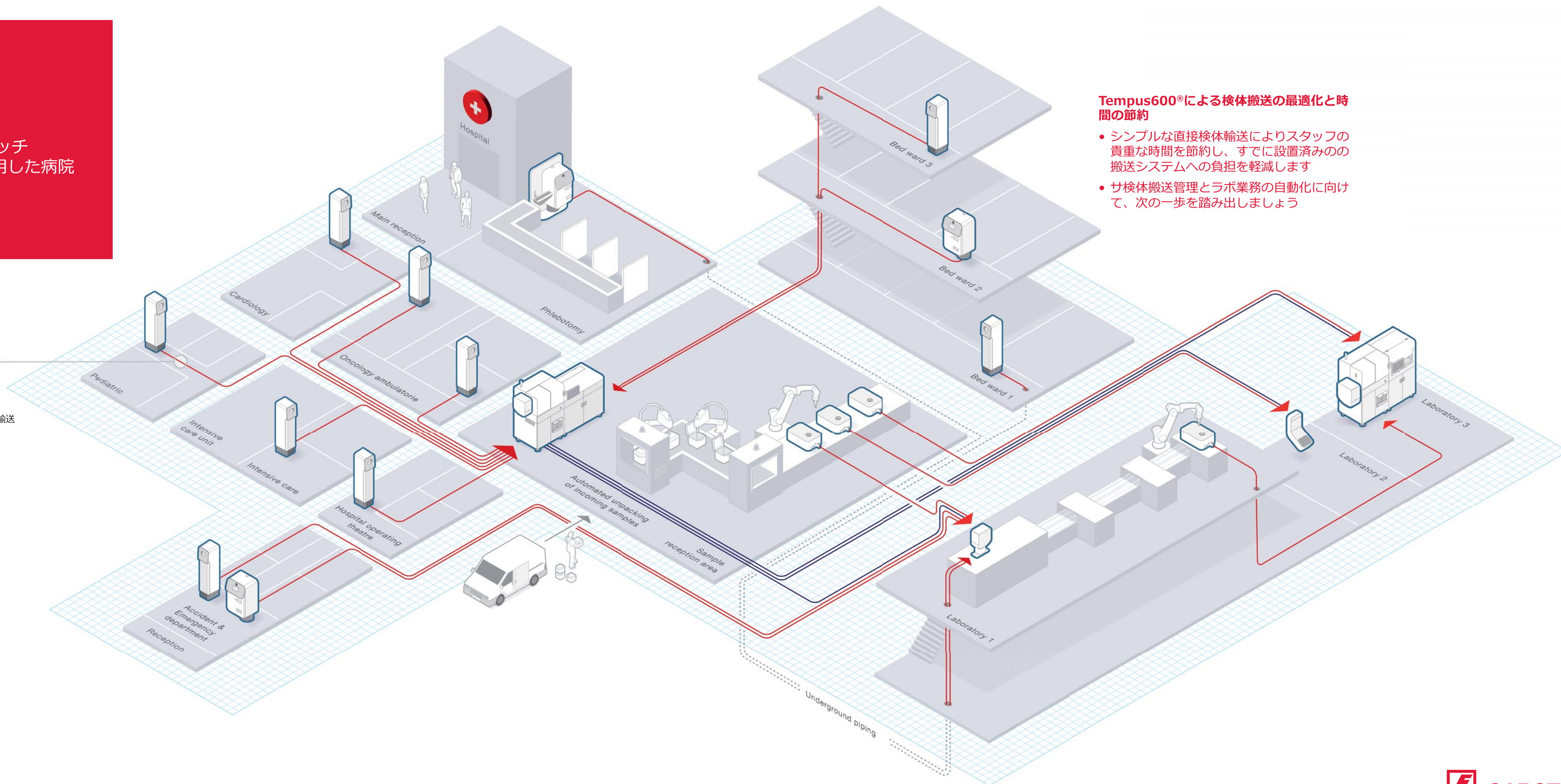
.....> 仕分けと搬送

概念図

Tempus600®ワンタッチ
ソリューションを採用した病院
およびラボ



血液および微量検体の輸送
パイプライン



Tempus600®による検体搬送の最適化と時間の節約

- シンプルな直接検体輸送によりスタッフの貴重な時間を節約し、すでに設置済みの搬送システムへの負担を軽減します
- サ検体搬送管理とラボ業務の自動化に向けて、次の一步を踏み出しましょう